海外渡航・留学ガイドライン遵守確認書

東京農工大学長 殿

東京農工大学「海外渡航・留学ガイドライン」に基づき、教育研究活動の一環として下記学生に係る海外渡航・留学（詳細は添付「留学願」、「渡航届」、「学外研究届」のとおり）を実施するにあたり、

ガイドラインの定める以下確認事項を満たしていることを確認しましたので、渡航を許可願います。

　年　月　 日

（指導教員または学科長）

※[押印省略] 押印の代わりに指導教員又は学科長が本様式を承認する旨を記したメールのコピーを添付すること。

（派遣学生）　【所属】

　　　　　　　【氏名】

|  |
| --- |
| **【海外渡航・留学にあたっての事前確認事項】**※確認した事項に☒を記入すること。* 学会・国際会議出席のための海外渡航においては以下１～9、その他の海外渡航・留学においては以下1～10の条件を確認すること。
* なお、渡航までの間に状況の変動が生じた場合、大学が渡航の中止、中断を指示する可能性がある。

この場合に生じたキャンセル料等については、原則、学生本人の自己負担となるため、その事を了承の上、渡航準備を進めること。[ ]  １. 渡航先国及び経由国について、外務省の危険情報・感染症危険情報がいずれもレベル１以下である、又は、外務省の感染症危険情報がレベル２以上の場合であって、以下の１）～４）の全てを満たしている。※１〔海外渡航・留学を認める場合〕１）渡航目的／内容が以下イ）～ハ）のいずれかである1. 留学又は現地受入機関のある研究派遣（非常時に受入機関の支援を受けられることを確認していることを前提とする※。）

※非常時の受入機関からの支援については下記項目10を満たすことで確認。1. 外国人留学生が母国において就学・研究活動等を行うための渡航
2. 学会・国際会議出席のための渡航又は現地受入機関のない調査等のための渡航で、教職員が帯同するもの。なお、博士（後期）課程在籍学生については帯同不要とし、単独での渡航も認められる。

２）渡航先国・地域について、以下の全てを満たすこと。* 感染症危険情報がレベル２または３であり、その事由が新型コロナウイルス感染症の影響である。
* 海外安全情報の危険情報がレベル1以下である。

３）原則、**新型コロナウイルスのワクチン接種が渡航日の15日前までに２回以上完了**しており※２、かつ、接種を証明できる証明書等のエビデンスが提出できる者４）別紙の確認項目の各条件を全て満たす者[ ]  ２. 必要な査証の取得が可能である。（通常、日本からの短期滞在者に対し査証免除が適用される国においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、査証免除の停止措置が取られている場合があるため、査証の要否を必ず確認すること。）[ ]  ３. 渡航先国及び経由国において、安全に入国及び経由が行える状況である。（日本からの渡航、経由国からの渡航等に関する入国制限状況を確認すること。）[ ]  ４. 渡航先での行動制限＊３（移動制限や自主隔離等）の状況及び受入機関における授業の開講状況、研究室での研究活動の状況等を踏まえ、目的とする活動（学会、授業履修、研究活動、研修、インターンシップ他）が十分行える状況であると判断できる。[ ]  ５．渡航前に、渡航先での安全な宿舎が確保できている。[ ]  ６. 渡航先で健康上の問題が発生した場合に受診できる医療機関が周囲にあることを確認できている。また、渡航前に本学の推奨する「学研災付帯海外留学保険」に加入している。[ ]  ７．渡航について、事前に誓約書において保証人となる保護者・家族・親族等からの承諾が得られている。[ ]  ８．渡航先国への入国に際し、一定期間の隔離措置等、渡航先国政府及び受入機関の定める防疫事項について事前に確認し、これを遵守することを確約する。[ ]  ９．日本への帰国に際し、入国後の自宅または宿泊施設での待機及び公共交通機関の不使用等、日本政府の定める防疫事項・水際対策を遵守することを確約する。**〔以下は、１－１）－ハ）に係る渡航は対象外〕**[ ]  10．渡航先の受入機関の受入責任者（受入教員または受入に責任をもつ教職員）から、先方国滞在期間中の安全確保や滞在する安全な宿舎の確保等への支援について、文書（メールも可）による合意が得られている。 |

（補足）

\*１：１において、渡航先国及び経由国の外務省の感染症危険情報がレベル２以上の場合であって、１）～４）の条件を満たさない場合については、原則渡航を認めていませんが、渡航目的の重要性及び現地での安全確保の状況等を個別に確認の上、所属する学部又は学府、研究科の長が特別に許可する場合に限り、派遣が認められます。これについては、個別のケースに応じての判断となるため、所属部局の担当事務を通じて相談して下さい。

\*２：派遣学生の安全を確保する観点から、ワクチン接種を原則としますが、接種を行えない事情がある場合は、接種を強制するものではありません。個別の事情については、確認書を提出する際に申し出て下さい。なお、渡航先国においてワクチン接種を必須としている場合もありますので、渡航先国の大使館サイト等でよく確認して下さい。

\*３：各国の行動制限の状況については、下記外務省サイトおよび各国大使館サイト等をご参照下さい。

【外務省サイト】https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory\_world.html

◆ガイドラインに係る確認書類の提出について◆

留学を希望する学生は「留学願」、その他の海外渡航を希望する学生は「海外渡航届」の提出時に、指導教員（指導教員のいない学部生においては学科長、以下「指導教員等」という）が作成した「海外渡航・留学ガイドライン遵守確認書」を及び、自身の作成した「留学・海外渡航にあたっての事前確認書」、「渡航誓約書」を各部局の教務係（連合農学研究科については学生係）宛に提出すること。

なお、指導教員等に「海外渡航・留学ガイドライン遵守確認書」の作成を依頼するにあたり、学生は、自身の作成した「留学・海外渡航にあたっての事前確認書」を指導教員に提出すること。（指導教員等は、学生から提出された「留学・海外渡航にあたっての事前確認書」の内容を確認の上、「海外渡航・留学ガイドライン遵守確認書」を作成します。海外渡航・留学にあたっては、指導教員（指導教員のいない学部生においては学科長）は、渡航の２週間前までに上記の条件を満たすことを確認し、「海外渡航・留学にあたっての確認書」を「海外渡航誓約書」とともに各部局の教務係に提出すること。